

まず耐震診断をしてみましょう！

問診 1. 建てたのはいつ頃ですか？	評 点
1981年（昭和56年）6月1日以降である。	1
1981年（昭和56年）5月31日以前である。	0
よく分からない。	0

問診 2. 今までに大きな災害に見舞われたことはありますか？	評 点
大きな災害に見舞われたことがない。	1
床下浸水・床上浸水・火災・車の突入事故・大地震・崖上隣地の崩壊などの災害に遭遇した。	0
よく分からない。	0

問診 3. 増築について	評 点
増築していない。または建築確認など必要な手続をして増築を行った。	1
必要な手続を省略して増築し、または増築を2回以上繰り返している。増築時、壁や柱を一部撤去するなどした。	0
よく分からない。	0

問診 4. 傷み具合や補修・改修について	評 点
傷んだところはない。または、傷んだところはその都度補修している。健全であると思う。	1
老朽化している。腐ったり白蟻の被害など不都合が発生している。	0
よく分からない。	0

問診 5. 建物の平面はどのような形ですか？	評 点
どちらかというとき長方形に近い平面である。	1
どちらかというときLの字・Tの字など複雑な平面である。	0
よく分からない。	0

問診 6. 大きな吹抜けがありますか？	評 点
一辺4m以上の大きな吹抜けはない。	1
一辺4m以上の大きな吹抜けがある。	0
よく分からない。	0

問診 7. 1階と2階の壁面が一致しますか？	評 点
2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がある。または平屋建である。	1
2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がない。	0
よく分からない。	0

問診 8. 壁の配置はバランスがとれていますか？	評 点
1階外壁の東西南北どの面にも壁がある。	1
1階外壁の東西南北各面のうち、壁が全くない面がある。	0
よく分からない。	0

問診 9. 屋根葺材と壁の多さは？	評 点
瓦など比較的重い屋根葺材であるが、1階に壁が多い。またはスレート・鉄板葺・銅板葺など比較的軽い屋根葺材である。	1
和瓦・洋瓦など比較的重い屋根葺材で、1階に壁が少ない。	0
よく分からない。	0

問診 10. どのような基礎ですか？	評 点
鉄筋コンクリートの布（ぬの）基礎またはベタ基礎・杭基礎である。	1
その他の基礎である。	0
よく分からない。	0

さあ！評点の合計をしてみましょう

判定・問診 1～10の評点を合計します	評点の合計
ひとまず安心ですが、念のため専門家に診てもらいましょう	10点
専門家に診てもらいましょう	8～9点
心配ですので、早めに専門家に診てもらいましょう	7点以下

合計は何点になりましたか？

評点合計

この耐震診断は、ご自宅の耐震性能の理解や耐震知識の習得を進めていただき、耐震性の向上を図るための耐震改修に向けて、より専門的な診断を行う際の参考にしていただくことを目的に作っています。

お住まいになっている住宅について、住んでいる方がご自身で住宅の耐震診断を行い、住宅のどのようなところに地震に対する強さ、弱さのポイントがあるかなどわかるようにできています。

加東市 都市整備部
都市政策課 住宅政策係
0795-43-0517

